

令和4年第4回青森市議会定例会提出

請 願 文 書 表

## 請願一覧表

受理 番号	受 理 年月日	件 名	請 願 者 の 住 所 ・ 氏 名	紹 介 議 員	付 託 委 員 会
5	R4.12.2	物価高騰と新型コロナの影響から事業者の営業を守るための給付金を求める請願	青森市長島三丁目21番8号 青森民主商工会 会長 野村 勝	赤平 勇人	文教経済 (常)
6	R4.12.2	(仮称)みちのく風力発電事業の中止を求める請願	青森県十和田市元町東二丁目2-25 横 浜 慎 一 外2名	蛸名 和子	民生環境 (常)

物価高騰と新型コロナの影響から事業者の営業を守るための給付金を求める請願

令和 4 年 12 月 2 日

青森市議会議長 奈良岡 隆 様

青森市長島三丁目 2 1 番 8 号  
青森民主商工会  
会長 野 村 勝

紹介議員 赤 平 勇 人

(請願の趣旨)

新型コロナウイルスは、2020 年 1 月に日本で最初の感染者が確認され、それから 2 年半以上が経過した。この間、飲食店をはじめとした多くの事業者は深刻な影響を受け続け、それでも必死に営業を続けてきた。

だが、ついには運転資金が尽き、自身の生活もままならず、廃業に追い込まれているケースが出てきている。こうした状況に加えて、急激な円安による物価高騰の影響により、この数は今後さらに増えていくことが予想される。

市内飲食店をはじめとした事業者からは、「コロナの第 8 波が来ると思うと不安だ。支援金が出るという保証もないのが不安」、「物価の高騰により、食材の仕入れの値段が上がった。値上げに踏み切っても固定客が来なくなるのが怖い」という声が上がっている。

長期にわたるコロナ禍の下で深刻な影響を受けていた事業者は、急激な円安による物価高騰の影響により廃業に追い込まれ、これまで以上に追い打ちをかけられている。これまで以上に影響を受けている事業者に対して、これまで以上の支援が必要である。

そのための支援として、全国の各自治体でも行われている、影響を受けている事業者に対する直接的な支援事業を市内事業者は切実に求めている。

よって、事業者の暮らしと営業を守るため、以下の通り支援策を講ずる事を強く求める。

(請願事項)

物価高騰と新型コロナウイルスの影響が発生している事業者に対して、支援を目的とした直接的な給付金事業を行うこと。

この給付金事業は、影響が出ているすべての事業者に届くようにし、申請はできるだけ簡素にすること。

(仮称) みちのく風力発電事業の中止を求める請願

令和4年12月2日

青森市議会議長 奈良岡 隆 様

住 所 青森県十和田市元町東二丁目2-25  
氏 名 横浜 慎一 外2名

紹介議員 蛭 名 和 子

(請願の趣旨)

世界的にエネルギー安全保障や地球温暖化対策が求められる中、太陽光、風力、水力、地熱、太陽熱、大気中の熱、その他の自然界に存する熱、バイオマスなどの再生可能エネルギーの推進は喫緊の課題として本県でも取り組んでいる。中でも風力発電は、自然界で無尽蔵に存在する風を利用する再生可能エネルギーであると同時に、発電時にCO<sub>2</sub>を排出させないクリーンエネルギーである。地球温暖化防止の手段の一つとして有効な発電方法である。

現在、青森市を含む6市町にまたがる約60万キロワットの大規模風力発電計画が進められている。再生可能エネルギーの推進は確かに必要であるものの、十和田八幡平国立公園を含み、青森県の水脈の根幹である八甲田山周辺に風車を120基から150基建設するという日本最大規模の計画には、青森県や周辺市町村及び多くの住民、全国から訪れる観光客からの懸念と不安を訴える声が多く寄せられている。

当該事業について、県及び青森市などからの意見書を踏まえて、事業者は内容の再検討とともに、現在、方法書を策定しているものと思われるが、当該事業の考え方では、住環境・自然環境・景観・地域資源に配慮した事業推進が可能とは到底思われず、多くの青森市民の理解を得ての事業実施は難しいものと判断せざるを得ない。

よって、青森市は、当該風力発電事業に関して、事業の中止を求めることを要望する。

(請願事項)

八甲田山系に予定されている(仮称)みちのく風力発電事業について、青森市は事業の中止を求めること。